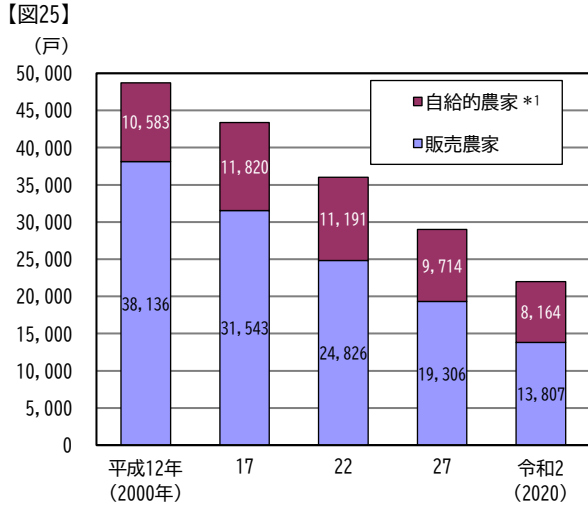


農林水産業

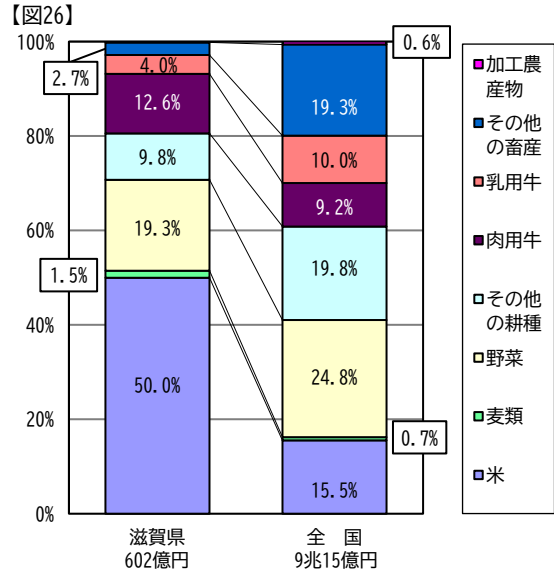
■農家数の推移



*1 経営耕地面積が30a未満かつ調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家

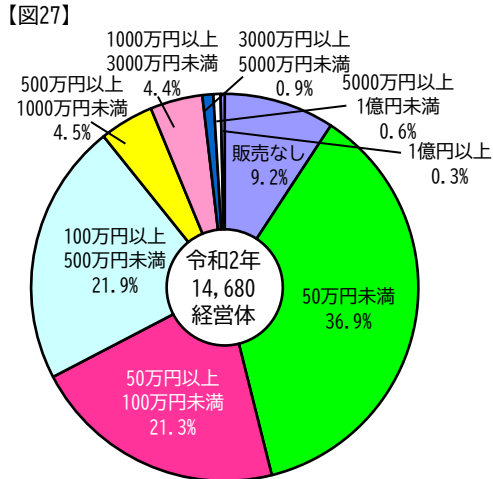
「農林業センサス」 農林水産省 (各年2月1日現在)

■農業産出額の品目別構成比



「生産農業所得統計」<第1報> 農林水産省 (令和4年)

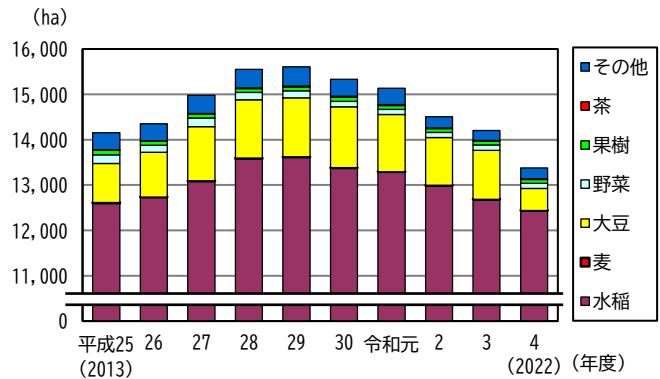
■農産物販売金額規模別 農業経営体数



「2020年農林業センサス」 農林水産省

■環境こだわり農産物

【図28】 環境こだわり農産物*2の栽培面積の推移



*2 農薬や化学肥料の使用量を通常の半分以下に減らし、環境への影響を小さくして生産した農産物

※1 「面積」とは、生産計画認定面積を指します。

県みらいの農業振興課

くらしの数字

5年以内に農業を引き継ぐ後継者を確保している経営体の割合 **28.6% (全国10位)**

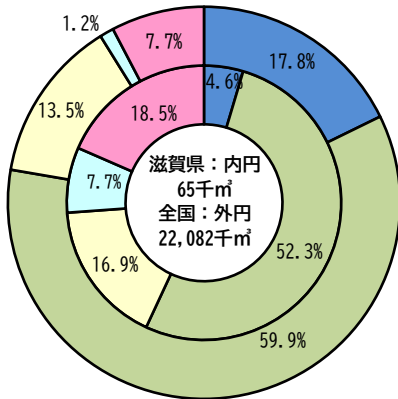
「2020年農林業センサス」 農林水産省

- 令和2年2月1日現在の農家数は21,971戸で、5年前より7,049戸減少した。(図25)
- 令和4年の農業産出額は602億円で、このうち米の割合が50.0%を占めている。米の割合は、全国の3倍以上である。(図26)
- 農業経営体のうち、農産物販売金額が50万円未満（販売なしを含む）の経営体は、全体の46.1%である。(図27)
- 令和4年度の環境こだわり農産物の栽培面積は、13,376.0haであった。(図28)

■樹種別素材生産量

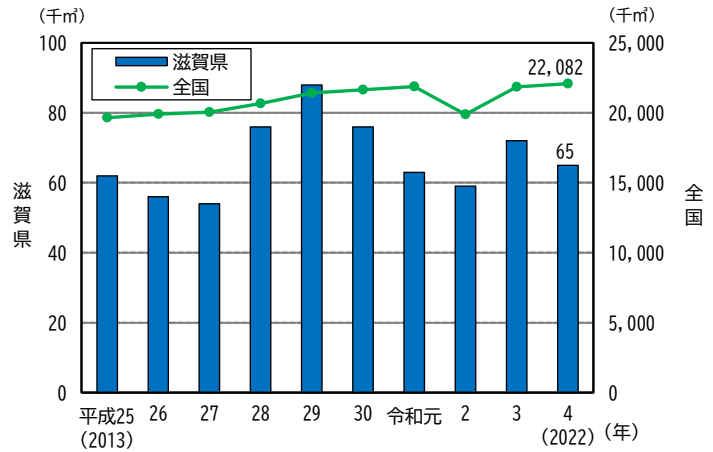
【図29】 樹種別素材生産量

■まつ ■すぎ □ひのき □針葉樹 □広葉樹
その他



「木材統計調査」農林水産省（令和4年）

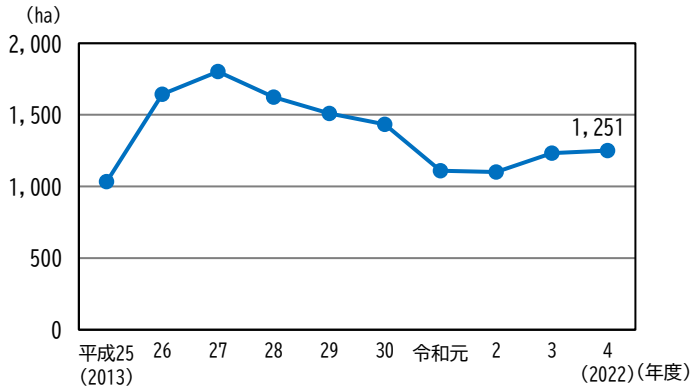
【図30】 樹種別素材生産量の推移



「木材統計調査」農林水産省

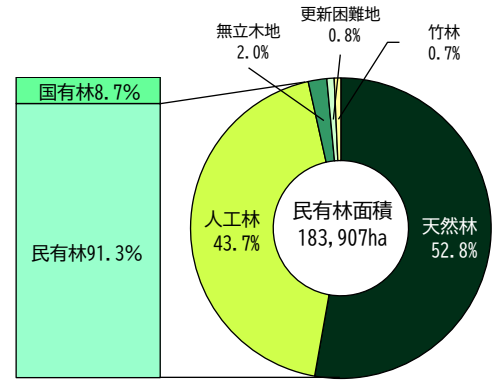
■森林面積

【図31】 間伐実施面積の推移



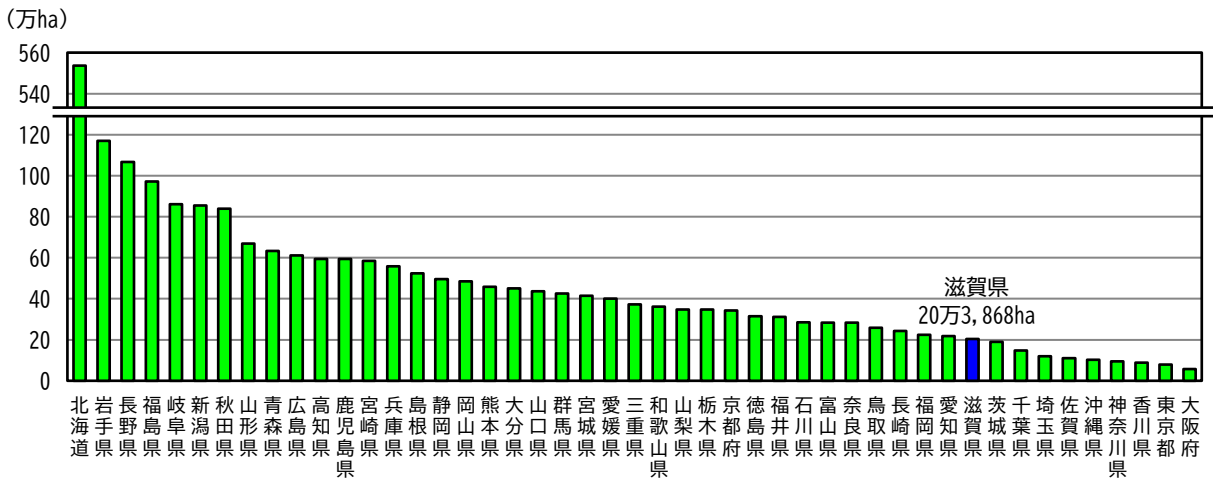
「滋賀県森林・林業統計要覧」県森林政策課

【図32】 森林面積の割合



「滋賀県森林・林業統計要覧」県森林政策課（令和4年度）

【図33】 都道府県別森林面積

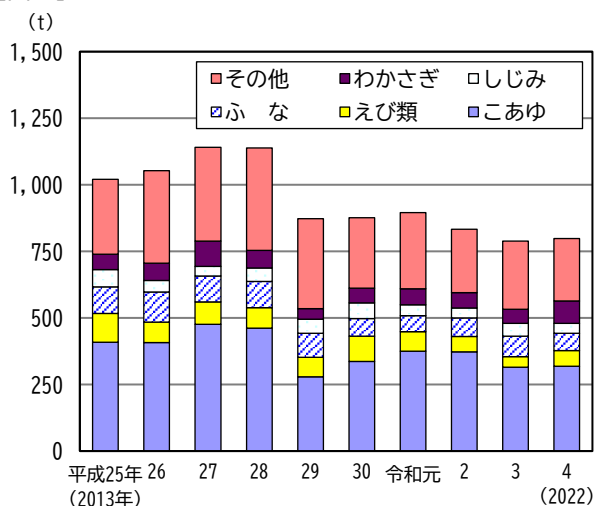


林野庁（令和4年3月31日現在）

- ・素材生産量のうち、すぎが52.3%を占めている。（図29）
- ・素材生産量の推移をみると、令和3年より7千m³減少した。（図30）
- ・県内の森林のうち91.3%が民有林で、そのうち52.8%が天然林である。（図32）
- ・令和4年3月31日現在の森林面積は20万3,868haで、全国38位である。（図33）

琵琶湖の漁獲量の推移（魚種別）

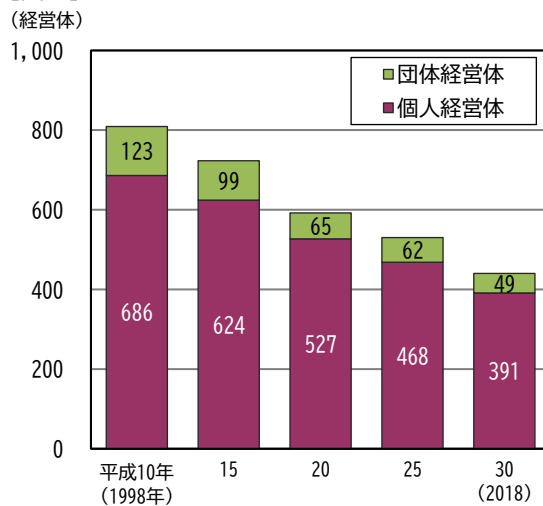
【図34】



「内水面漁業生産統計調査」 農林水産省

琵琶湖の漁業経営体数の推移

【図35】

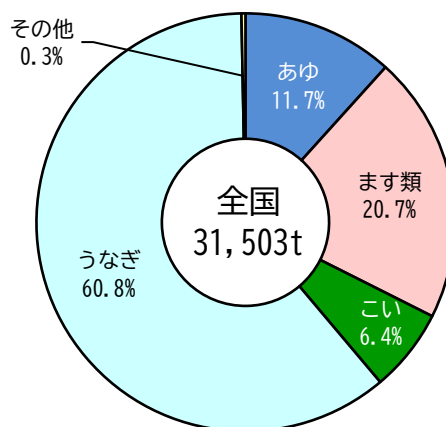
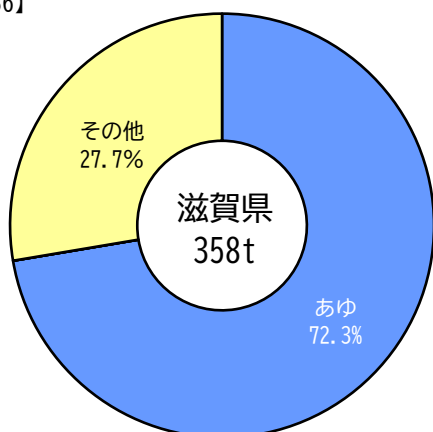


※2 団体経営体および年間湖上作業従事日数30日以上の個人経営体に関する数値。

「漁業センサス」 農林水産省

内水面養殖業の収穫量

【図36】



※3 琵琶湖養殖を含む。

「内水面漁業生産統計調査」 農林水産省（令和4年）

くらしの数字

就業者1人当たり農業産出額（個人経営体）（令和3年度）
全国16位 587.3万円

土地生産性（耕地面積1ha当たり）（令和3年度）
全国43位 114.9万円

「統計でみる都道府県のすがた2024」 総務省統計局

- 令和4年の琵琶湖での漁獲量は、798 t で前年より1.3%増加した。魚種別にみると、こあゆ319t (40.0%)、えび類58t (7.3%)、ふな65t (8.1%)、しじみ38t (4.8%)、わかさぎ84t (10.5%) などとなっている。(図34)
- 平成30年の琵琶湖漁業経営体の総数は440で、このうち団体経営体が49、個人経営体は391となっており、9割近くを個人経営体が占めている。(図35)
- 令和4年の滋賀県の内水面養殖業（琵琶湖養殖を含む）の収穫量は358tであった。収穫量のうち、あゆが259tで72.3%を占める。(図36)